

～千葉県からの1ターン～

八島英蒼さんへの

(写真右側) インタビュー

広報まつさか

2019年8月号掲載

松阪飯南森林組合で働く3名に

お話を伺いました♪

○職業：林業

○家族構成：妻・子ども

○移住歴：9年目



松阪市飯南町仁柿地区は古くから関西と伊勢を結ぶ伊勢本街道沿の要所として多くの旅人が行きかった地域。そんな仁柿地区に移住した八島さんは松阪飯南森林組合で働き、地域の人との繋がりを大切にしながら暮らしています。

——地域のひととの繋がりは？

「仁柿は通過するだけで、記憶に残らない。仁柿に来てくれる人の記憶に残って欲しい」そんな地域の人の思いから3年前に地元のわらや木材を使った巨大オブジェ作りが始まりました。1～2年目は参加できず、3年目からの参加になったんですが、地域の人は快く受け入れてくれました。「用事があるときは無理せんでいいよ」と言ってくれたので、強制参加ではなく、自主的に参加でき、それも受け入れてくれたんです。観光客を呼び込む向けの取り組みだと思っていたけど、参加してみても横の繋がりが深められる取り組みでもあるんだなと感じました。

「受け入れてくれた地域に感謝」

——休日の過ごし方は？

オブジェ作りの他にもお祭り等の季節の行事に参加しています。他にはバーベキューをしたり、家の前にある川で遊んだりしています。地域との接点が多くて、都会で過ごすよりも充実していて、四季折々の自然が感じられるのはいいですね。

——これからしたいことは？

地域の方に受け入れられて、今でもあったかくしてくれる人たちに恩返しがしたいです。背伸びはできないけど、自分のできるころから地域に貢献できたらいいなと思います。それと、移住するには家も大事だけど仕事も大事。森林組合も受け皿として行政と協力しながらやっていきたいと思っています。



——森林組合でのお仕事について教えてください。

森林組合というと、木を切る仕事というイメージが強いですが、山の調査等さまざまな仕事があります。自然が好きであれば経験がなくても大丈夫。総職員の1割程度が移住者なんです。

▼八島さんが働く松阪飯南森林組合(0598-32)3516)は随時就労相談・職場見学を行っている。